

山口県生協連 ニュース vol.236

発行：山口県生活協同組合連合会

〒753-0083 山口市後河原 210

TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416

E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp

<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>



2021年7月31日発行

第72回通常総会を開催

2021年6月23日（水）14時00分～14時20分、山口県労福協会館4階大ホールにて山口県生協連第72回通常総会を開催しました。昨年同様、今年も新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に、ご来賓の参加中止と代議員には書面議決書での出席をお願いしました。

開会の後、岡崎会長理事があいさつをおこないました。続いて議長に山口大学生協の矢川正訓代議員を選出しました。議長はまず資格審査をおこない、本日の出席が代議員総数48名中、本人出席1名、書面議決出席47名でこの会が成立していることを報告しました。続いて議案提案に移り、第1号議案—1、第2号議案～第4号議案を荒瀬専務より、第1号議案—2を福田監事が提案し全議案とも、賛成多数で採択され本総会は終了しました。



～会長挨拶～

この1年間、コロナ禍のもといろいろな制限はありましたが、県連の活動をできる限りやらせていただきました。加入単協の中でコロナの影響を大きく受けたのは大学生協でありました。その中でも影響が大きかった山口大学生協へ、理事会の決断をもって一定の資金的援助をさせていただきました。大変だった1年を振り返ってみて、活動ができてこの総会を迎えられた事は良かったと思います。

まだまだこれからもコロナの影響が続くと思いますが、昨年までの経験をもとに、この総会以降は来年度に向けて私たちが結束できる活動を行い、アフターコロナになればそれぞれの単協が出来る活動を行えるように、生協連はそれを後押しできるようになれると良いと思います。皆様にはもう少し長いスパンで力添えいただきたいと思います。

- 第1号議案 -1 2020年度活動報告・決算報告および剰余金処分案承認の件
 -2 監査報告
- 第2号議案 2021年度活動計画案および収支予算案承認の件
- 第3号議案 定款の一部改訂の件
- 第4号議案 役員報酬限度額承認の件



岡崎会長理事



矢川議長



荒瀬専務



吉光副会長

《2021年度の基本方針》コロナ禍にあっても県生協連を通じて生協間、協同組合や他団体、行政等との連携をすすめ、生協がくらしの安心・安全により貢献できることをめざします。

《2021年度の活動方針》

1. 安心して暮らせる社会をめざして、消費・健康・福祉・補償・防災・平和・環境などの社会的活動を進めます。
2. 会員生協の経営に役立つ情報交換や学習会等を実施します。また、事業や活動での会員生協間での協力、連携を図ります。
3. 社会的な活動に取り組む関連団体の支援、また、生協運動推進のためにも生協（連）と他団体、行政等との連携をすすめます。
4. 生協への共感と参加を広げるため、生協の事業と活動についての広報・認知活動をすすめます。

山口県へ平和要請

7月15日（木）11:00～11:15、ピースアクション実行委員会は核兵器の廃絶と平和な世界を願って、山口県へ平和要請をおこないました。コロナウイルス感染予防のため、今年も県から4名、ピースアクション実行委員会より4名の参加で行いました。はじめに岡崎実行委員会委員長より「今年の1月に核兵器禁止条約が発効され、私たちの願い続けてきた核兵器廃絶の一步となりました。しかし残念ながら日本は署名・批准をし

ておらず、この度ゆだ苑さんからの呼びかけに賛同し、署名活動に取り組むこととしました。核兵器廃絶、戦争のない平和な未来を願う気持ちは皆同じです。今後も県民と一緒に平和を考える活動をすすめていきたい。今日の要請にこめた想いを受け取っていただけたら」と挨拶をおこないました。続いてコープやまぐちの柳瀬知美組合員が平和要請文を読み上げ、県環境生活部・京牟礼部次長へ手渡ししました。京牟礼部次長からは平和活動の激励をいただきました。山口県原爆被害者団体協議会の林会長は、ご自身が広島で



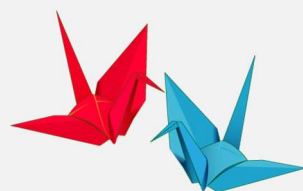
被爆されたお話と、このつらい記憶から平和の大切さを子どもたちに伝えるためにこれからも活動していきたいとお話されました。(一財) 山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑の岩本理事長は、「条約を批准していない日本政府に対し、全国各地の地方議会で意見書や決議で批准を求める動きが相次いでいるが、山口県内では同様の意見書や決議を採択した議会はない。強い気持ちを持って今こそ行動に出ていただきたい」と強い口調で訴えられました。



日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名にご協力下さい

山口県生活協同組合連合会では、山口県原爆被害者団体協議会・山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑からの呼びかけに賛同し、署名に取り組むこととしました。署名の内容をご確認いただき署名へのご協力をお願いいたします。

Web 署名もできます。このニュース最終ページ記載の QR コードを読み取るか URL から入っていただき必要事項を入力して送信してください。署名用紙に直接記入する場合は山口県生協連ホームページ (<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>) の署名のお願いから署名用紙をダウンロードしてください。



～会員生協トピックス～福祉生活協同組合さんコープ

「さんコープ看護小規模多機能型居宅 宮野」が

2021年10月1日開業予定です



看護小規模多機能型居宅介護とは、医療ニーズの高い人が利用できる在宅サービスが少ないことから、2012年4月から「複合型サービス」として制度化された事業です。

「グループホーム」や「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」などと同様に、事業所が所在する市町が指定する「地域密着型サービス」の一つで、「訪問介護」「通い」「泊まり」に加え「訪問看護」を同じスタッフが支援できる特徴があり、がん末期の人や老衰の終末期の人のターミナルケ



アや緩和ケア、在宅酸素使用等の医療ニーズの高い療養者に向いているサービスです。

それぞれに定員を設け、その人に合わせた在宅支援を行える柔軟なサービスを行い、個々の異なる暮らしを支えることができます。

詳しい内容は福祉生活協同組合さんコープのホームページをご覧ください <http://www.san-coop.jp/>

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名にご協力下さい

核兵器のない世界を実現しよう

山口県生活協同組合連合会では、山口県原爆被害者団体協議会・山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑からの呼び掛けに賛同し、下記の署名に取り組むこととしました。内容をお読みいただき、署名へのご協力をお願いします。

署名につきましては、記載のQRコードを読み取るか、URLから入っていただき、WEB署名画面にて個人ごとに必要事項をご記入のうえ、送信いただくようになります。

WEB 署名の締め切りは、10 月末日です。

内閣総理大臣 殿

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

被爆 75 年にあたる 2020 年 10 月 24 日、核兵器禁止条約の発効要件を満たす 50 カ国の批准書(加入書を含む)が寄託され、2021 年 1 月 22 日に発効となりました。核兵器の使用が国際法で禁止されたのです。

今や核保有国を含む世界の市民の多くが、核兵器が反人間的兵器で不要なものであることを知るところとなりました。

戦争による核攻撃を受けた唯一の国である日本政府は、核兵器の禁止から廃絶へ、今こそ先頭に立って世界をリードするときです。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求めます。

(署名画面につながる QR コードと URL は以下です)

<QR コード>



<URL> <https://www.hiroshima.coop/form/form.php?form=60cacfe595b7d>

【取扱団体】

山口県ピースアクション実行委員会（山口県生協連）

〒753-0083 山口市後河原 210

TEL 083-923-5614 FAX 083-928-5416